

社長メッセージ

～2021年12月期 決算発表を終えて～

日本時間の2022年2月17日に、米国ではForm 10-K、日本では決算短信をリリースいたしました。また本日、決算補足説明資料を公表いたしました。これにより、2021年12月期の決算発表について一通りの必要な手続きを完了することができました。

先のプレスリリースでもお伝えさせていただきましたが、決算業務に携わるメンバー及び関係者が、新型コロナウイルスへの感染、又は濃厚接触者に認定されるなど、当初のスケジュールを見直す必要が生じましたが、株主・投資家の皆様に無事に決算のご報告をすることができ、安堵しております。

2021年は前年に引き続き新型コロナウイルス感染症の状況に左右された一年でした。当社が本拠を構える米国では、学校、民間ビジネス、公共セクター等を中心に実施されていたロックダウン措置が解除された時期に一致して、変異種デルタ株の蔓延が拡大し、新たなパンデミック期に突入しました。デルタ株より感染力の強いオミクロン株は、それまで比較的落ち着いていた一日の新規感染者数をも激増させ、私たちの関係者の中にも感染者が出てしまう状況で、制限された日常の中での活動を余儀なくされました。

そのような中において、患者さんの登録が、進行中の臨床治験で一時的に停滞するなどの影響はあったものの、いずれのプロジェクトも概ね予定通りに進捗させることができましたのは、ひとえに治験に参加された患者さん、治験実施に携わる関係者、協力者の皆様の懸命な努力によるものであり、ただただ感謝しかありません。

2022年も、新型コロナウイルス感染症の影響について相応の覚悟をしなければならないと考えております。日々変化する状況に注意をしつつ、現在進行中のプロジェクトをストップさせることなく、着実に前進させるべく、マネジメントに尽力いたします。また、今年は新たな臨床治験の開始も計画しています。

「十分な治療がまだ確立していない疾病を患う世界中の患者さんに、よりよい治療を提供することにより社会に貢献すること。」という会社理念のもと、全社一丸となって開発に取り組んでまいりますので、引き続きのご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

以上

メディシノバ・インク
代表取締役社長兼 CEO
岩城 裕一